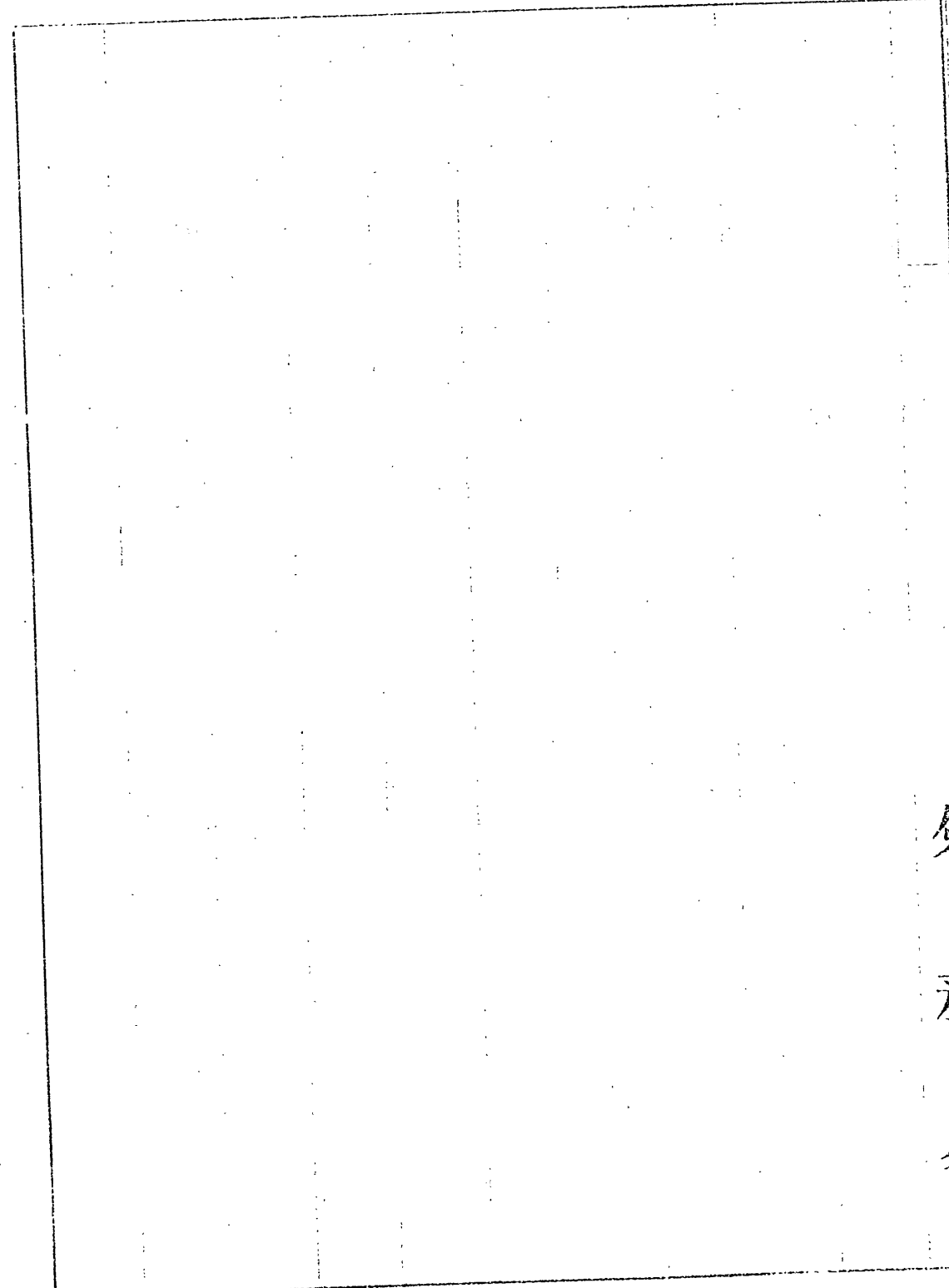


外務省



樞密院議長正二位勲一等男爵 平沼騏一郎
任内閣總理大臣

内閣總理大臣公爵 近衛 文麿
依願免本官

右
勅 旨ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和十四年一月五日

海軍大臣

米内光政

臣文磨

晨ニ之ニキヲ以テ圖ラズモ大命ヲ拜シ内閣首班、重責ニ
膺ルヤ日ヲラズシテ又那事變動勃發シ内外、時局頓ニ重大ヲ加、臣
茫才其、任ニ堪ヘサルヲ知ル然レドモ事態、推移ニ容易ニ内
閣、更迭ヲ許ササルモノアリシガ敢テ驕鈍ニ鞭ヲ以テ
今日ニ及ヘリ

然ルニ今々事變ニ新段階ニ入り東亞永遠、平和ヲ確保ス

然ルニ今ヤ事變ニ新段階ニ入リ東亞永遠平和ヲ確保ス
ベキ新秩序ノ建設ニ向ツテ主力ヲ注グベキ時機ニ到達セリ謹
按スルニ此ノ新タル事態ニ處スルガ爲ニ新タル内閣ノ下ニ
新タル施政ノ構想工夫ヲ運ラシ以テ民心一新ヲ圖ルコト、
必要ナルヲ確信ス然レモ事變ニ處スベキ帝國不動ノ方針ニ異
長クモ聖斷ヲ仰ギテ確定セリタリ此ノ場合尙其職ニ留マル
誠ニ恐懼ニ堪ヘズ乃チ茲ニ閣下ニ伏シテ骸骨ヲ乞ヒ奉ル仰
願ハクハ聖明垂鑑目ガ重責ヲ解カセ給ハムコトヲ誠惶
誠恐謹ニ奏ス

昭和十四年一月四日

内閣總理大臣公爵 近衛文磨